

再構築検討に至った背景・施設概要

- 再構築の背景
- 開館から17年経過
⇒施設の老朽化, 展示内容の陳腐化
 - 新たな課題の発生
⇒新型インフルエンザ, PM2.5, 生物多様性の喪失
 - 行財政改革プラン
⇒類似施設への機能移転や統合を検討



開設目的: 市民を対象に保健・環境分野の理解を深めるための学習の場を提供するとともに, 保健環境問題の啓発を行うことにより, 地域環境及び保健衛生環境の保全を図るもの

- (1)所在地 福岡市中央区地行浜2丁目1-34 1F
- (2)施設規模 約549 m²
(研究学習ゾーン313 m², 体験学習ゾーン236 m²)
- (3)開設 平成9年5月
- (4)開設経費 2億9,072万円(内, 国庫補助金1億4,340万円)
- (5)利用料金 無料
- (6)開館時間 午前10時～午後5時
- (7)休館日 毎週月曜日(当日が祝日の場合はその翌日)
- (8)来館者数 約12,000人(内, 子ども6,400人)

・学習ゾーン



環境や保健に関する各種情報(音, 水, エネルギーなど8分野)を展示物やパソコンで紹介

・体験ゾーン



映像を見ながら, 環境について学び考える体験空間



環境をテーマにした常設シアター



環境や保健に関する実験や工作体験



絶滅危惧種のカブトガニやヒナモロコを飼育展示

1階部分

再構築のコンセプト

求められる役割

- 社会の要請
- ・健康と環境の安全安心に係る情報提供の強化
 - ・生物多様性に関するプラットフォーム機能
- 市の方針
- ・第3次福岡市環境基本計画(平成26年9月策定)
- 分野別施策
- 快適で良好な生活環境のまちづくり
 - 市民がふれあう自然共生のまちづくり
 - 資源を活かす循環のまちづくり
 - 未来につなぐ低炭素のまちづくり
- 分野横断型施策
- 環境の保全・創造に向けた人づくり・地域づくり
 - 環境の保全・創造に向けたしくみづくり
- 食の安全安心に関する基本方針
- 科学的知見に基づいた食品の安全性の確保
 - 食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築
- 生物多様性ふくおか戦略
- 生物多様性に関する認識の社会への浸透

- 対象分野
「健康と環境の安全・安心の確保」
「生物多様性の保全」
- 機能
「情報発信」, 「交流活動拠点」

主な課題

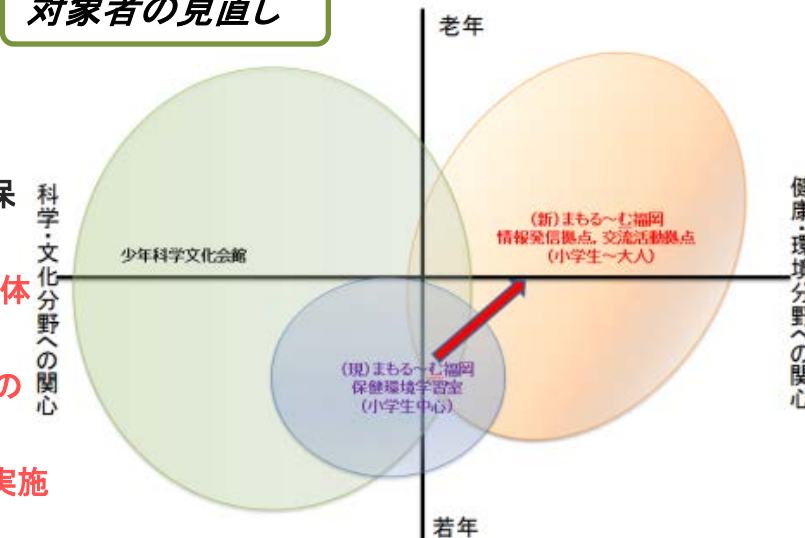
- 施設・プログラム
- ・施設の老朽化, 展示内容の陳腐化
 - ・対象者, 対象分野が不明確
 - ・実験プログラム, 展示内容等の専門性不足
 - ・体験ゾーンの収容人数不足
 - ・保健環境研究所との連携不足
- 管理運営について
- ・NPO, 市民団体等の交流拠点としての機能不足
 - ・情報発信機能の不足
 - ・開館日・時間の制約, 駐車場の収容台数不足



基本的な方向性

- 【対象者】健康・環境と生物多様性に関心や学習意欲を持つ, 小学生から大人までの幅広い世代に拡大
- 【施設の名称】分かりやすく親しみやすい名称に変更
- 【事業に関する内容】
 - 学習ゾーン(改修): 分野を健康・環境と生物多様性に絞り, 展示内容を大幅に見直し
余剰スペースを有効活用し, 各種発表会や人的交流ができるスペースを確保
 - 体験ゾーン(改修): 研究所の分析機器を有効活用した, 専門性の高い本格的な科学実験の実施
 - (新)情報発信: 保健環境研究所や関係機関, 大学, NPOの関連情報を集約, 整理し, 様々な媒体で発信
 - (新)体験学習: NPO等と連携した自然観察会, 事業者と共同での工場見学等のフィールド学習の企画実施
 - (新)講演・講座・発表会など: 学校クラブの発表会や大学やNPOと連携した公開講座等の企画実施
- 【連携・支援】大学, NPO及び事業者等の様々な主体とのネットワーク構築
- 【施設の運用】利用しやすい開館日, 開館時間に変更, 車寄せを駐車場に改修, イベント時は周辺駐車場と提携

対象者の見直し



考えられる具体的な対応例

体験学習

- 【事業内容】
- ・保健環境研究所のバックヤードツアー
 - ・食品関連事業場の見学と食品添加物の検査



- ・学校や公民館等の各種団体への出前実験
- ・博多湾の自然観察会
- ・学校クラブ活動の支援
- ・ミニ保健環境研究所で本格的な科学実験



- ・疑問や不安に思うことについてオーダーメイドの調査研究

- 【施設の改修】
- ・本格的な実験ができるように、不要なシアターを撤去し必要なスペースを確保
 - ・不要となった研究所の分析設備や分析機器を有効活用し、ミニ保健環境研究所に再整備



事業者

イベント情報

保健環境研究所

食中毒・感染症・PM2.5等
健康・環境に関する専門情報

関係行政機関

食品・生物多様性等
健康・環境に関する情報、
シンポジウム等開催情報

講演・講座・発表会

- 【事業内容】
- ・NPOや大学等の活動団体を支援する連絡協議会を運営
 - ・専門家による講演
 - ・理科教諭との連携
 - ・NPOの活動発表会



- ・教委理科研究会との連携(表彰式、発表会など)

- 【施設の改修】
- ・来館者その他の連携主体との人的交流が活発に行われるよう、気楽に会話ができる交流スペースの確保

NPO、
市民活動団体

渡り鳥・ホタル等
自然環境情報

(新)まもる一む

体験学習・企画展示・
講演・講座・発表会等

大学等
研究機関

健康と環境に関する学術情報

情報共有・交換

情報発信

<連携のイメージ>



ホームページ、SNS、メーリングリスト等

学校

PTA

市民

自治会

公民館

.....

自然とふれあう
施設

福岡の自然



油山市民の森・自然
観察の森「森」



かなたけの里
「里」



(仮称)野鳥公園
「鳥」

情報発信

- 【事業内容】
- ・ホームページやSNS、メーリングリスト等を活用した情報発信(食中毒・感染症情報・渡り鳥飛来情報、講演・イベント情報など)

- ・特定外来生物博物館
- ・NPO等の活動報告の展示
- ・「体験学習」の活動報告の展示
- ・福岡特有の生物に関する展示
- ・学校、PTA、自治会、子ども会、公民館等との団体と連携した情報発信
- ・広報や集客活動のノウハウに長け、時代に応じた広報ツールを使いこなす人材育成
- ・施設の象徴となる福岡の生物多様性に関する大型展示

- 【施設の改修】
- ・既存展示物を選別し、健康と環境の安全・安心の確保及び生物多様性の保全に関する展示



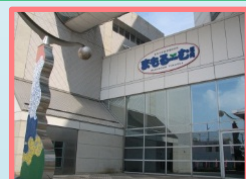
再構築スケジュール

- 【平成26年度実施】
- 今後のあり方策定
 - ・有識者ヒアリング
 - ・関係機関からの意見
 - ・他都市調査
 - ・利用者意向調査
 - ・プロジェクトチーム(ワーキングG)あり方検討
 - ・事業試行
 - ・実行可能性調査
- 【平成27年度予定】
- 実施計画策定
 - ・一部先行改修
 - ・一部事業見直し
 - ・敷地内の車寄せを活用し10台分程度の駐車場を整備

類似施設との棲み分け



少年科学文化会館
(科学)
※移転再整備予定



新まもる一む
(自然、生活)

環境局



3Rステーション
(循環)



スマートハウス
(低炭素)